【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和6年9月24日(2024.9.24)

【国際公開番号】WO2024/003967
【出願番号】特願2024-530078(P2024-530078)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｓ 41/27(2018.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｓ 41/27

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月12日(2024.7.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の光源を有する光源部と、
入射面及び出射面を有し、前記複数の光源の発光面からそれぞれ発せられた複数の光が前記入射面から入射し、入射した前記複数の光を前記出射面から複数の投射光として出射し、前記複数の投射光で配光を形成する単一の光学部と、
を備え、
前記出射面は、前記複数の投射光がそれぞれ通過する１つ以上の投射領域を有し、
前記１つ以上の投射領域の各々における前記出射面の光軸は、前記複数の光源の光軸に対して偏心している
ことを特徴とする前照灯装置。
【請求項２】
前記出射面は、前記１つ以上の投射領域として複数の投射領域を有する
ことを特徴とする請求項１に記載の前照灯装置。
【請求項３】
前記複数の光源の各々は、前記複数の投射領域のいずれかに対応しており、
前記複数の投射領域の各々に対応する光源の光軸に対する、前記複数の投射領域おける前記出射面の光軸の偏心の大きさは、互いに異なる
ことを特徴とする請求項２に記載の前照灯装置。
【請求項４】
前記複数の投射光で形成される前記配光は、予め決められた第１の方向及び前記第１の方向に直交する第２の方向のうちの少なくとも一方を配列方向として並ぶ複数のセグメントからなる照射範囲を含む
ことを特徴とする請求項３に記載の前照灯装置。
【請求項５】
前記複数のセグメントのうちの隣り合うセグメントの前記配列方向における端部が互いに接するように、前記複数の投射領域の各々における前記出射面の前記光軸の位置及び方向を設定する
ことを特徴とする請求項４に記載の前照灯装置。
【請求項６】
前記複数の光源の前記発光面から発せられる前記複数の光が、前記光学部の前記出射面から前記複数の投射光として、互いに異なるセグメントに照射されるように、前記複数の

光源及び前記光学部が形成されている
ことを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の前照灯装置。
【請求項７】
前記入射面は、集光機能を持つ領域である少なくとも１つの集光領域を有する
ことを特徴とする請求項６に記載の前照灯装置。
【請求項８】
前記少なくとも１つの集光領域は、前記光源部に向けて突き出ており、予め決められた延在方向に延在する頂部を持つ凸状部を有し、
前記延在方向に直交する方向に切る断面形状は、前記延在方向の位置に依存しない同じ形状である
ことを特徴とする請求項７に記載の前照灯装置。
【請求項９】
前記少なくとも１つの集光領域は、前記光源部に向けて突き出ており、予め決められた方向に延在する頂部を持つ凸状部を有し、
前記少なくとも１つの集光領域のプロファイルは、前記凸状部の前記頂部を間に挟んで一方の側と他方の側とで互いに異なる
請求項７に記載の前照灯装置。
【請求項１０】
前記複数の光源の前記発光面からそれぞれ発せられる前記複数の光の各々が通過する前記光学部の光学面は、前記入射面と前記出射面である
ことを特徴とする請求項８に記載の前照灯装置。
【請求項１１】
前記複数の光源の前記発光面は、同一平面上に配置されている
ことを特徴とする請求項１０に記載の前照灯装置。
【請求項１２】
前記複数の光源の前記発光面からそれぞれ発せられる前記複数の光の各々が通過する前記光学部の光学面は、前記入射面と前記出射面である
ことを特徴とする請求項９に記載の前照灯装置。
【請求項１３】
前記複数の光源の前記発光面は、同一平面上に配置されている
ことを特徴とする請求項１２に記載の前照灯装置。